

2021年



かわむら小児科

公式 LINE

モ〜モ〜くらぶ



ヘルパンギーナ・手足口病について

9月からヘルパンギーナや手足口病が流行っています。どちらも夏に流行るウイルス性の病気で夏かぜの一種です。コクサッキー、エンテロ、エコー、アデノウイルスなどがあります。今年はコクサッキーのA6型というウイルスかと思えます。

ヘルパンギーナは38～40℃の高熱が2、3日出て、のどが赤くなり、のどの奥に小さな水ぶくれができる病気です。のどに水ぶくれができるので痛くなります。のどが痛いときは固いものを避けて柔らかいもの(プリン、ゼリー、アイスクリームなど)にするといいでしょう。オレンジジュースなどすっぱいものどにしみるかもしれません。今年のヘルパンギーナは後から手足に発疹が出てくることもあるので手足口病と言ってもよいのかもしれません。

ヘルパンギーナも手足口病もウイルスによるものですので特に効く薬はなく、対症療法としてののどの痛み止めや熱さましぐらいを処方します。

発疹が消えてものどから2～3週、便からは4～5週間ウイルスが排出されるので長い期間うつりまです。保育園は熱が下がってのどの痛みがなくなるまでは休ませましょう。

……感染症情報(10月1日現在)……

- ★RSウイルスはだいぶ少なくなってきました。
- ★嘔吐下痢症(ノロウイルスによる胃腸炎)も少し見られます



休診のお知らせ

10/2 (土)午後 中四国医師会連合協議会
10/9 (土) 全国病児保育研究大会
10/30(土) 全国学校保健学校医大会

マスクトラブル

新型コロナウイルス対策としてマスクを着用することによる皮膚トラブルが増えています。

主な原因は…

- マスクに対する過敏性(接触性皮膚炎)
- マスクによる摩擦
- マスクの中で皮膚が蒸れ、外すと乾燥することの繰り返し

皮膚の状態が良いと刺激があっても湿疹が予防できます。

家庭での基本的なケアは石鹸で丁寧に洗いしっかりとすすいだ後、保湿剤を使用します。

自宅で3日程度ケアしても改善がなければ受診するようにしましょう。

日本小児科医会は、2歳未満の子どものマスク着用は危険を伴うと提言しています。

- ★呼吸が苦しくなり、窒息する恐れがある
- ★熱がこもり熱中症リスクが高まる
- ★顔色・呼吸状態などの異変発見が遅れる
- ★嘔吐した場合窒息の可能性もある

周囲の大人が基本的な感染予防対策に努めましょう。

(こまさん)

モーモーハウスだより

読書の秋ですね。モーモーでもお昼寝の前に読書タイムをつくっています。子どもたちは絵本の世界に吸い込まれるように見えています。面白い場面があるとクスッと笑ったり、悲しい場面では悲しい気分になったりと、いろいろな気持ちを感じ取っています。

ご家庭でも休日や寝る前のひとときに、子どもたちと絵本の世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。